学校番号	T3011

令和８年度　数学科

教科	数学	科目	（通）数学Ⅱ	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	高校数学Ⅱ（実教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この授業は通信科目です。スクーリング・レポート・考査を総合的に評価します。スクーリングの回数は多くないので、可能な限り予習をし、分からない部分をはっきりさせながら臨むようにしましょう。まずは、自分の中の「わからない」を見つけましょう。説明文や式変形の、どこがわからなくなったのかをはっきりさせましょう。そうして見つけた「わからない」を「わかる」に変えるには、説明を繰り返し聞いたり方法を真似してみたりしながら、時間をかけて考える必要があります。授業のなかでしっかり考える時間を大切にしましょう。わかったと感じたときは、繰り返し練習問題を解くなどして、「わかる」を「できる」に変えましょう。課題提出を定期的に要求します。授業時間外の学習でも、何がわからないかをはっきりさせながら課題に取り組むようにしましょう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
いろいろな式、図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
【思考力、判断力、表現力等】
数の範囲や式の性質に着目し、等式や不等式が成り立つことなどについて論理的に考察する力、座標平面上の図形について構成要素間の関係に着目し、方程式を用いて図形を簡潔・明瞭・的確に表現したり、図形の性質を論理的に考察したりする力、関数関係に着目し、事象を的確に表現してその特徴を数学的に考察する力、関数の局所的な変化に着目し、事象を数学的に考察したり、問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養う。
【学びに向かう力、人間性等】
数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	複素数、図形と方程式、いろいろな関数及び微分・積分についての基本的な概念や原理・法則を理解している。事象を数学化したり、解釈したり、数学的に表現処理したりすることに関する技能を身に付けている。	数や式を目的に応じて適切に変形する力、図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力を身に付けている。	自ら考える姿勢を持ち、粘り強く考え、数学的に考察しようとしている。 自分の学習態度を振り返り、改善しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	複素数と方程式	・式の計算 ・複素数と2次方程式 ・高次方程式	a:基本的な計算や解法を理解している。（方程式の解法、関数の見方、複素数・指数対数の計算、微分積分の考え方、グラフ作成など） b:方程式や関数の処理において、さまざまな解法を使い分けたり、組み合わせたりし、学習した内容を活用して数学的に考察し、表現することが出来ている。 c:自ら考える姿勢を持ち、粘り強く考え、数学的に考察しようとし、自分の学習を見つめなおし、改善しようとしているか。	レポート 定期考査 など	定期考査 授業観察 など	スクーリングの取組み 発問への反応 など
	図形と方程式	・点と座標 ・直線の方程式 ・円の方程式				
後期	いろいろな関数	・三角関数 ・加法定理／弧度法 ・指数関数 ・対数関数				
	微分と積分	・微分の考え ・積分の考え				

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度